

## 福知山公立大学 「情報学部」 を新設 ～北近畿地域初の情報学部 令和2年4月に新設～

公立大学法人 福知山公立大学

北近畿地域唯一の4年制大学である福知山公立大学は、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人財を育成し、北近畿地域をはじめとする地域における持続可能な社会の形成に貢献することを目的としています。この目的をより一層果たすため、「情報学の体系・知識・知見・技術を学び、それらを用いて地域の価値向上や持続可能な社会の形成に寄与し、情報技術を開発・提供・応用・活用する多様な分野で活躍できる人財の育成」を目的として、平成31年3月に文部科学省に情報学部の設置認可申請をいたしましたところ、令和2年4月の設置が令和元年11月19日付で認可されました。これにより北近畿地域初の情報学部が誕生いたします。令和元年12月に推薦入試、令和2年に一般入試を実施します。

### 1 学部の概要

- (1) 学部・学科名称 情報学部・情報学科
- (2) 設置時期 令和2年4月
- (3) 設置場所 福知山市字堀3370番地
- (4) 入学定員・収容定員 1学年100名（4学年400名）
- (5) 教育課程 118科目（講義93科目 演習 17科目 実験・実習 8科目）
- (6) 卒業要件単位数 128単位
- (7) 学位 学士（情報学）
- (8) 専任教員 18名（教授：8名、准教授6名、講師4名） うち女性3名

### 2 教育の概要

情報学の体系・知識・知見・技術を学び、地域の環境・経済・文化を理解し、情報学の知見等を地域の価値向上に応用・活用し、地域の人々が健康で安全に安心して暮らせるような、持続可能で活力ある地域社会づくりに貢献できる多様な人財を養成することを目的とします。

このため次のような特色を持つ学習プログラムを提供します。

#### ① 情報活用の事例から原理に近づきながら専門性を高める帰納的学習

専門科目は、実践系科目、基盤系科目、理論系科目に分類され、学習者は、まず実践系科目で具体的な事例を学習し、次に基盤系科目でツールと技術を学習し、最後に理論系科目で理論を学習する、という順序で学習を進めていきます（図1）。ただし、帰納的な学習を純粋に推し進めるときに生じ得る困難を避けるために、実際のカリキュラムでは、「実践系科目は1年生が無理なく学べるよう、平易な内容にする」、「演繹的な学習プログラムを一部取り入れる」、「教員のアドバイスに基づいて上回生履修や聴講を認める」、などの工夫をしています。

#### ② 課題解決型学習を用いたアクティブラーニング

本学の「地域協働型教育研究」を具体化した、演習系科目「地域情報PBL」等を全学年に配置し、実用成果を重視したアクティブラーニング型の学習プログラムを採用しました（図2）。

#### ③ 高度なプロフェッショナルを養成するための3つのトラック

AI、データサイエンス、ICTを軸にした多様なプロフェッショナルを育成するために、人間・社会情報学、データサイエンス、ICTという3つのトラックを設けました。ここでいう「トラック」とは、学習を進めるための緩やかなガイドラインであり、学習者は、トラックを変えたり、教員のアドバイスにもとづいて独自の進路を定めたりすることができます。

「人間・社会情報学トラック」では、主に、AI技術やエンタテインメント技術を実社会に適用できる人財を育成します。「データサイエンストラック」では、主に、地域の現実のデータを収集・分析し、地域社会の持続と発展のためのシナリオの作成と評価のできる人財を育成します。「ICTトラック」では、主に、情報システムやアプリケーションの開発等により、地域生活を豊かにする情報基盤を構築できる人財を育成します。

④ 3つのトラックの確かな基礎スキルを身につけるためのIT実習

学習者全員が人間・社会情報学、データサイエンス、ICTの各トラックの基幹となるテーマについて、実習に基づいて身につけた学力を修得することを担保するために、データ解析演習（1年次前期）、ITハードソフト実習（1年次後期）、メディア情報処理実習（2年次前期）、複合現実実習（2年次後期）の4回からなるIT実習（図3）を履修することを必修にしています。ただし、大学に入ってはじめて情報技術に接する学習者でもついてこれるようにするために手厚い支援をします。

⑤ 多様で柔軟な学習メニュー

学習体系とカリキュラムの対応づけの原則を図4に示します。学習者は、まず、1年次のコースの履修を通して、自分の進む方向を定め、基本的な概念を修得します。2年次では、ツールやスキルの修得を通して、体験的に専門知を固めます。ただし、ICTトラックでは、ICTの中心となるコンピュータやインターネットをきちんと理解してから、実践系科目を履修します。3年次では、理論を通して専門知を深めます。すでに概念的基盤ができていたり、ツールに習熟している人は、2年次科目や3年次科目から始めることもできます。また、自分の進むトラックとは異なるトラックも学んで視野を広めることもできます。

